

平成 27 年三条市議会第 3 回定例会請願文書表

受理番号	第 8 号	受理年月日	平成 27 年 6 月 16 日
件 名	T P P 交渉に関する請願		
紹介議員	阿部銀次郎君 岡田竜一君 横山一雄君 長橋一弘君 小林誠君 野崎正志君		

請 願 文

【請 願 理 由】

T P P 交渉については、来年のアメリカ合衆国大統領選挙に向けて事実上の交渉期限が近づく中、アメリカ合衆国議会における T P A 法案の成立いかんが大筋合意の焦点となるなど緊迫した局面を迎えています。

4 月以降、日米農産物協議において、米の輸入枠拡大が検討されているといった報道が相次ぎ、生産現場では、かつてない不安が広がっています。

また、我が国では、地域の特性を踏まえて、重要品目以外にもさまざまな農業が営まれており、農林水産物の多くの品目が関税撤廃の対象となるとの懸念も広がっています。

さらに、情報開示に対する政府の対応は、マスコミ報道のみが先行する中で、混乱と不信を増幅させる事態を招いています。こうした報道のように、期限ありきで拙速に妥協することは許されません。

米の輸入枠拡大などをめぐる具体的かつ数値入りの報道が正確でないのであれば、政府は懸念を払拭する十分かつ明確な説明を行うべきです。

我々 J A グループは、引き続き国会決議の実現を徹底して求めていくとともに、食と農を基軸に地域に根差した協同組合として、農業者の所得増大、農業生産の拡大、さらには地域の活性化に向けて、全力で運動を展開していくものです。

つきましては、次の事項について関係行政庁に意見書を提出してくださるよう請願いたします。

【請 願 事 項】

- 1 米、麦、牛肉・豚肉、乳製品、甘味資源作物などの農林水産物の重要品目を除外または再協議の対象とすること。国民の暮らしや命にかかわる食の安全や I S D 条項、さらには情報開示について定めた衆議院、参議院の両農林水産委員会決議を必ず実現すること。

付託委員会

経済建設常任委員会